

～2回目人権の花運動の取り組み～

10月18日(火)午後から全校児童で2回目の人権の花運動に取り組みました。今回は「シャクナゲ」の花の苗を大きめの鉢に植えました。子どもたちは縦割りの4つのグループに分かれて、協力しながら大きめの鉢に腐葉土を入れてシャクナゲの苗を植え替えました。

植え替え作業に先立って吉澤先生から、この花をある程度学校で育ててから地域の高齢者の方々にプレゼントすることが伝えられ、子どもたちは、自分たちが大切に育てた美しい花を高齢者の方々に貰って頂くことで、感謝の気持ちを届けたいとはりきっていました。

この植え替え作業に五郷・飛鳥地区の人権擁護委員さんが参加され、子どもたちの作業を手伝ってくれました。子どもたちが、水やりをして育った苗を11月に入って職員で地域の高齢者の方々のお家に届けました。どの方からも喜んで頂き、子どもたちの思いが伝わって良かったです。



～自然の家宿泊体験学習に参加しました～

5・6年生全員で10月20日(木)・21日(金)に行われた自然の家宿泊体験学習に参加しました。この宿泊体験学習は、飛鳥小学校、入鹿小学校、新鹿小学校、五郷小学校の4校の5・6年生が参加しました。飛鳥小の子どもたちは、多くの仲間と野外でカレーライスを作って食べたり、山でハイキングをしたり、焼き杉のプレートを作ったりして、とても楽しんでいました。

特に、この日は雲一つない秋晴れの空で、夜空は、まるで宝石をばらまいたような星の輝きを放っていました。夜、天文に詳しい方が来て下さって、子どもたちに星座や木星、土星について話をしてくれました。そして、自然の家に設置されている天体望遠鏡で木星、土星を観察させてくれました。感動している子どもの声が多く聞こえてきました。子どもたちにとって、いい思い出になったと思います。とても良い学習でした。



～社会科で郷土の伝統を学ぶ～

4年生の社会科の学習で郷土の伝統について深く学ぶというテーマにそって、神山ジャジャツク保存会の方の協力で、ジャジャツクの由来や演奏方法について5人の子どもたちが神山生活改善センターと光福寺でその由来や演奏法について一生懸命に学びました。

教科担任の山本教頭先生が、郷土学習を進める上で現地の関係者から直に教わることが子どもたちの理解を深める望ましい手段であるという考えで実施してくれました。福田さんと福村さんが子どもたちの学びのために、熱心に指導して下さい、とてもいい学習になりました。



～夢の教室～

10月31日(月)の午後に5・6年生が、五郷小学校の5・6年生と共にオンラインで日本の陸上競技の有名な選手である湯田友美さんの話を聴きました。友美さんは駅伝のトップランナーで自分が学生時代から頑張ってきたことを分かりやすく話してくれました。友美さんは、子どもたちに目標を持つこととあきらめずに頑張る大切さを教えてくれました。終わりに友美さんから「将来、何を目指しますか。」という質問があり、本校の子ども2人が手を挙げて、「僕は警察官になりたいです。」「私は担任の先生のような小学校の先生になりたいです。」と答えていました。2人とも将来の目標をはっきり言えて素敵だなあと感心しました。



～芋ほり大会～

11月4日(金)の午後、1学期に植えて育ててきたサツマイモをみんなで掘り出しました。それぞれの学級の畑からこぶしの何倍かの大きさに育ったサツマイモが姿をあらわしました。鮮やかな色でどの芋もずっしりとした重さでした。

特に、1・2年生の畑から掘り出された芋は子どもの頭くらいの大きさのものがいくつか出てくるなど、みんなで見ました。11月21日(月)の午前中にこれらの芋を焼いて、みんなで食べる予定です。



※今後の予定※

11月11日(金)ピンクシャツ運動(人権尊重運動)

11月15日(火)授業参観・音楽発表会・学校運営協議会

11月21日(月)焼き芋大会

11 月 23 日(水)勤労感謝の日